

令和3年度 大阪府立なにわ高等支援学校 学校説明資料

- 1 本校の概要 ⇒ 教育課程、部活動、学校生活など
- 2 職業教育について ⇒ 各専門教科、共通教科などについて
- 3 進路指導について
- 4 入学者選抜について

1 本校の概要 ⇒ 教育課程、部活動、学校生活など

○ 沿革概要

平成27年4月 大阪市立なにわ高等特別支援学校開校

平成28年4月 大阪府立なにわ高等支援学校へ校名変更

令和2年4月 大阪府立東住吉高等学校および今宮高等学校に共生推進教室を設置

本年度は開校7年目 昨年度までに4期、177名を送り出しました。

○ 生徒数

	男	女	合計
1年	38	10	48
1年共生	1	0	1
2年	32	15	47
2年共生	3	2	5
3年	32	15	47
合計	106	42	148

令和3年度、各学年1クラス12名で4クラス編成

○ 所在地 大阪市浪速区木津川2-3-30

○ アクセス 最寄り駅 JR環状線 芦原橋駅 徒歩約7分

○ 通学バスはありません

・「JR芦原橋駅」南口を利用し、自宅より電車・バスなどの公共交通機関を使って通学していただけます。

・公共交通機関を利用して本校に通学する場合は「JR芦原橋駅」を利用することになっています。

・学校への自転車での通学は認めていません。

※ただし、自宅より最寄り駅までは申請により許可しています。

○ 通学路について

・JR「芦原橋」を利用する場合は「南口」を利用し、通学路を通って登下校します

○ 校地・校舎

・校地面積 = 42,173 m² ・建物面積 = 11,814 m² ・運動場（プールを含む） = 11,480 m²

→ 学校全体の広さは = 大阪ドームの1.25倍

○ 「府立難波支援学校」「大阪市キャリア教育センター」との併設

1階 難波支援学校、大阪市キャリア教育支援センター

2階 難波支援学校

3階 なにわ高等支援学校（1階に共用教室あり）

○ 制服・作業服・体操服について（学校指定用品）

- ・ブレザータイプの冬服、夏服があります。女子の制服は、スカートかスラックスを購入時に選ぶことができます。
- ・体操服、作業服も指定があります。
- ・合格発表後、制服・体操服・作業服の探寸・購入をしていただきます。（約8万円）

・その他に

- ・通学靴は黒の革靴で統一しています。
- ・通学靴の他に、校内用と運動場用、体育館用の計4足が必要です。
- ・靴下は黒または紺色で無地かワンポイントのもの。
- ・通学かばんは、教科書や弁当・水筒、作業服、体操服等が入る大きさがが必要です。

* 指定のものはありませんが、ご家庭で必ず用意していただきます。

○ なにわの1日

- ・登校時間は8：20～8：40です。登校後はタイムカードに記録します。
- ・授業は50分授業です。
- ・給食はありません。昼食は、弁当等を持参します。
- ・金曜日と水曜日に、校内でパンの販売をすることがあります。自動販売機があり、お茶など購入することができます。
- ・下校は15時45分です。実習面接等の短縮時の下校は12時45分です。
- ・部活動の活動日は17:00～17:30下校となります。

○ 主な学校行事

- ・本校は前期・後期制です（前期：4月～10月、後期：10月～3月）

4	5	6	7	8	9
春季休業 入学式 前期始業式 新入生歓迎会	生徒会選挙 体験実習(2年)	体育祭 校内実習 前提実習(3年)	校外学習 夏季休業	夏季休業 オープンスクール	前期末考査 体験実習(1,2年)
10	11	12	1	2	3
前期終業式 生徒会選挙 秋季休業 後期始業式 修学旅行(2年)	前提実習(3年) 校外学習(1年のみ)	文化祭 冬季休業	冬季休業 体験実習(1,2年)	入学者選抜 後期末考査	卒業証書授与式 修了式 春季休業

○ 部活動 今年度は10個の部が活動しています

運動部 ・陸上競技部 ・サッカー部 ・バスケットボール部 ・卓球部 ・バドミントン部 ・ソフトボール部 ・水泳部
 文化部 ・パソコン部 ・音楽部 ・美術部

		1年		2年		3年		計	活動内容・実績 等
		男	女	男	女	男	女		
運 動 部	陸上競技	0	0	2	0	2	1	5	・2019日本 I D陸上競技選手権大会 女子100m 3位、 チャレンジアスリート男子 4 0 0 m出場 ・WPA2019 ジャパンパラ陸上競技大会 Women100m7位 ・大阪支援学校陸上競技大会 男子 100m 1位・3位、200
	卓球	1	0	0	2	3	4	10	基本的な技術の習得を目的として、週に 1回程度練習しています。 また、校外での試合へも参加を予定しています。
	サッカー	1	0	6	0	6	0	13	・第 5 回関西知的支援学校高等部サッカー大会 優勝 ・第 29 回大阪支援学校サッカー大会 優勝 ・第 5 回知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権 (全国大会) 出場
	バスケットボール	2	0	3	1	4	3	13	大会に向けて日々の練習に取り組み、選手主体でお互いのプレーや戦略について話し合いました。チームで励まし合い、厳しい練習を乗り越えました。
	バドミントン			2	1	2	1	6	OB 戦 高等支援学校交流試合 (対 たまがわ高等支援)
	水泳	1	0	3	0	0	0	4	夏季：校内プールで練習 冬季：基礎トレーニング、校外プールでの練習 2019年スポーツフェスタ 50m 1位
	ソフトボール	0	0	2	0	2	0	4	ソフトボールを通して人としての成長を目指しています。 第 7 回アミティカップ ソフトボール大会 第 3 位
文 化 部	パソコン	0	0	9	0	7	1	23	興味関心のあることを追求し、レポートを作成したり、情報処理 検定試験に向けて学習をしたり、プログラミングでロボットを操作したりと、グループごとに分かれて研修・研究をしています。
	音楽	0	0	0	4	3	3	10	文化祭の舞台発表に向けて、合唱、アンサンブル、ダンス等の練習 をしています。
	美術	0	0	0	4	1	0	6	・2018年かんでんコラボアート 21 審査員賞受賞 ・作品制作、外部コンクール出品
	計								(令和 3 年 6 月 1 日現在)

○ その他の学校生活

- ・なにわ高等支援学校ではチャイムが鳴りません。自分たちで時計を見て、次の授業に間に合うように準備をします。
腕時計の着用もOKです。
- ・更衣ロッカーについて。
一人に一つ鍵のかかる更衣ロッカーを貸し出します。自分の持ち物や授業の準備物などの自己管理をしています。
(鍵を紛失・破損した場合は自己負担となります)

2 「職業教育について」 ⇒ 各専門教科、共通教科などについて

- 教育目標： やりぬく経験を増やし豊かな人間性をはぐみ自己選択、自己決定できる生徒を育てる
- 令和2年度 週当たりの授業時数

科目	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	家庭	外国語	情報	職業	共通	専門教科	特活	総合	自立活動	合計
1年	2	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1	2	12	1	1	20 分 × 5日	32
2年	2	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1	2	12	1	1		32
3年	2	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	2	12	1	1		32

- 専門教科（週12時間）

目標：実習を通して基礎的な知識や技能を習得し、働く楽しさや意義を体感して就労意欲を養う。

（3学科、6つの専門教科で実施しています。）

学科	専門教科	説明
クリエイティブワーク	マシンワーク	さまざまな工具や機械への興味・関心を高め、基礎的・基本的な知識と技術を習得することを実践的に学ぶコースです。 工具や機械は、扱い方を間違えればケガや事故につながるため、安全に十分気をつけながら作業を行う力をつけることを目標にしています。
	ファームワーク	作物の栽培や校内の景観管理（除草作業や花壇づくり）の実習を行います。 栽培や景観管理に関する一連の作業に協力して取り組み、仕事に対する積極性や責任感や協調性など、就労に向けた基礎的・基本的な力を身につけることを目標にしています。
サービス・ビジネス	クリーニング	オフィス等の清掃やビルメンテナンスの基礎知識を学ぶコースです。様々な用具を使用し、実際に校舎などを清掃する実習を行いながら、協調性や責任感、安全管理などの働く力を身につけることを目標にしています。
	オフィス	事務処理で使用する文具やパソコン入力、倉庫作業やビジョントレーニングなどを通して、安全意識やコミュニケーション力など、仕事に必要なスキルを学ぶコースです。また、ビジネスマナーの学習にも重点を置き、働く力を身につけています。
ライフサービス	ケアサポート	主に、福祉の理念や介護の基礎的な知識や技術を身につけるコースです。高齢者や障がい者など、「支援を必要とする人」と接することで、相手の立場に立って考える力、コミュニケーション力、安全に仕事をする力を身につけることを目標にしています。
	フードサービス	食品栄養、食品衛生、食器洗浄実習、食品製造実習などを通して、ビジネスマナーを身につけ、働く意識を高めることを目標としています。学習を通して、衛生管理や安全管理への意識を高め、「指示の意味を理解して主体的に行動する力」を伸ばします。

※ 学科選択について

令和3年度における学科選択の方法。1年生の全生徒が3学科6つの専門教科を履修します。その後、2年生で1学科（2つの専門教科）を選択し、3年生もそのまま2つの専門教科を履修します。

専門教科は、題材をとって働くために必要な基礎的・基本的な知識、技能を学ぶためのものであり、必ずしもその業種、職種に就職するということではありません。

○ 共通（週2時間）

目標「接客・販売」「健康・体力」という働くうえで必要な基礎的な力を身につける。

（2クラスを2班に分け実施します）3年次は「キャリアデザイン（仮称）」を履修予定です。

○ 職業（週1時間）

目標：働くことの意義を理解するとともに、職業生活に必要な知識、技能及び態度を身につける。

○ 1年生の時間割の例（1校時は50分）

	月	火	水	木	金
1	専門	保健体育	保健体育	数学	専門
2		特別活動	国語	外国語	
3	国語	情報	音楽	専門	家庭
4	数学	理科	社会		美術
昼食（弁当）・昼休み					
5	職業	専門	専門	専門	共通
6	総合				
7	自立活動（20分）				
部活動（部によって回数は違います）					

○ 現場（体験）実習

目標：職場での体験を通して、働くことに対する意欲と自信を高め、自らの興味、関心、適性などを知り、進路を自己決定できるようにする。職場の規律を守って生活することを通して、社会生活に必要な態度、習慣を身につける。

★ 3年間で7回以上の現場実習を行います

- ・1年時は年2回ペアで実習を行い、就労に向けた基礎づくりをします。
- ・2年時は年3回個別での実習を行い、様々な職種を経験し、自己の課題に取り組みます。
- ・3年時は卒業後の進路先を見据えた（前提）実習を行います。（前期・中期および必要に応じて随時）

○ 出前授業

・企業等の外部講師を招聘し、就労に対する意識を高めることや、専門教科の授業で高い専門性に基づいた授業を受けることをねらいとして実施します。

○ 校内実習

・1年次、現場実習前に長時間継続して作業に取り組み、自らの適性や課題に気づき、就労に対する態度や意識を高めることを目標としています。

3 「進路指導について」

○ 本校の進路指導

- ・本校は職業学科を設置する学校で、進路指導は就労を基本として考えています。
- ・本校で考える就労は、原則「障害者雇用」枠としての就職です。
- ・「障害者雇用」とは、障害者雇用促進法によって事業主が、常勤の従業員のうち一定割合の障がい者を雇用すること

が義務付けられている制度です。

- ・なお、「障害者雇用」には療育手帳を所持していることが必要となります。

○現場実習先について

- ・生徒の「やってみたい」という想いを大切に実習先を選んでおり、多種多様な業種の企業にご協力をいただいております。

実習先の主な業種は以下の通りです。

事務補助、小売業、清掃業、工業系、物流、農園芸、飲食業、介護、自動車（洗車）

- ・実習先の確保のため、進路担当教員を中心に全教員で企業開拓を行い、実習や雇用の受け入れ先を広げています。

（令和3年4月現在 約850の事業所に訪問しています）

○卒業資格について

- ・本校を卒業すると知的障がい支援学校高等部卒業となり、高等学校卒業資格とはなりません。

- ・本校卒業時に自動的に取得できる資格はありません。資格取得希望者は、各自で介護初任者研修や各種検定試験等を受験しています。

○大学や専門学校などへの進学について

- ・支援学校卒業後は、学校教育法第九十条により大学入学資格が認められており、高等学校卒業と同等に扱われるため大学や専門学校を受験することができます。

- ・実際の受験に際しては受験する学校との調整が必要になります。

- ・障害者職業能力開発校（訓練校）など障害者関係の各校に関しては受験可能です。

- ・本校卒業後に高等学校や高等学校卒業程度認定試験（旧大検）を受験することはできません。

○卒業生の進路状況

- ・期別の進路先

進路先	就職	就労継続 支援A型	就労 移行支援	就労継続 支援B型	じりつくねん 自立訓練	しよぎよ 職業 くんねんこう 訓練校	しんがく 進学	ほか その他	ごうけい 合計
1期生	27	2	4	0	1	4	1	1	40
2期生	28	4	5	1	0	6	0	1	45
3期生	32	3	3	1	1	1	1	4	46
4期生	36	1	5	0	0	0	0	4	46

- ・4期生就職者 業種別内訳（37名 A型含む） ※就職先の企業名は公表しておりません。

業種	卸・小売	飲食・調理	製造（食品等）	清掃	介護施設	農園芸	事務補助	機械・工業	運搬物流	その他
人数	10	5	3	4	2	2	2	1	6	2

4 「入学者選抜について」

「令和4年度大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科（本校）入学者選抜方針」

1 志願できる者

職業学科を設置する高等支援学校（本校）への入学を志願することのできる者は、本人及び保護者の住所（住民票に記載されている居所）が原則として大阪府内にある者のうち、次の(1)から(3)までのいずれにも該当する者とする。

- (1) 令和4年3月に中学校若しくはこれに準ずる学校、義務教育学校又は中等教育学校の前期課程を卒業または修了する見込みの者
- (2) 療育手帳を所持している者又は児童相談所等の公的機関により知的障がいがあると判定を受けた者
- (3) 自主的な通学が可能である者

2 選抜方法等

- (1) 入学者の選抜は、中学校等の校長が提出する調査書及び推薦書並びに検査及び面接の結果を総合的に判断して、職業学科を設置する高等支援学校の校長が行う。
- (2) 検査等は、支援学校長が当該学校において行う。

3 出願、検査等及び合格者発表の期日

出願	面接・検査	合格者発表
2月14日(月曜日)及び 2月15日(火曜日)	面接 2月17日(木曜日) 検査 2月18日(金曜日)	2月28日(月曜日)

○ 出願についてのポイント

- 出願できる知的障がい高等支援学校は1校だけです。
- 出願手続きは本校で行います。また、郵送での受理はしません。
- 出願時の提出書類には不備がないよう、事前に中学校と確認をしてください。
- 出願時に療育手帳の写しを提出していただきますが、更新日が過ぎている場合は出願できませんので、当該入学者選抜を受験する可能性がある場合は、療育手帳の「次の判定年月」の項目を必ず確認し、早めに市町村の窓口で更新申請を行ってください。(更新にはおよそ3～4か月の時間がかかります)
- 出願期間は2日間です。書類の不備等があった場合、願書を受理できませんので、早めに出願をされることをお勧めします。

○ 面接・適性検査についてのポイント

- 面接及び適性検査は本校にて行います。
- 面接、適性検査の時間については、出願時に伝えます。
- 面接は出願時に提出していただく自己申告書に基づいて行います。なお、面接は保護者の同伴を原則としています。
- 適性検査は、読み、書き、指示理解、作業等の基礎的な分野です。

4 併願等

- (1) 本入学者選抜に出願する者は、令和4年度大阪府公立高等学校入学者選抜のうち特別入学者選抜、海外から帰国した生徒の入学者選抜、日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜、柏原地域連携型中高一貫教育に係る入学者選抜、大阪府立豊中高等学校能勢分校入学者選抜、知的障がい生徒自立支援コース入学者選抜並びに本入学者選抜方針の大阪府立高等学校に設置する共生推進教室入学者選抜への志願において、併願することができない。
- (2) 本入学者選抜の合格者は、令和4年度大阪府公立高等学校入学者選抜のうち一般入学者選抜及び二次入学者選抜に出願することができない。本入学者選抜の合格者で令和4年度大阪府立支援学校高等部入学者決定に出願している者は、その受験資格を失う。

○併願についてのポイント

- ・本校以外の高等支援学校、自立支援コース、共生推進教室、特別入学者選抜（高等学校）との併願はできません。
- ・本校の合格者は他の入学者選抜（公立の高等学校、他の支援学校）に出願することができません。（専願）
- ・居住地域の支援学校との併願は可能です。（本校合格時は他校の受験資格を失います）

「大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科（本校）補充入学者選抜」

本入学者選抜のうち合格者数が募集人員に満たない職業学科を設置する高等支援学校（本校）にあつては、大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科（本校）補充入学者選抜を行う。

補充入学者選抜の出願、検査等及び合格者発表の期日は、次のとおりとする。

出願	検査等	合格者発表
3月23日（水曜日）	3月23日（水曜日）	3月25日（金曜日）

○補充選抜のポイント

- ・合格者が定員に達した場合は実施しません。
- ・面接及び適性検査は同日に行います。

※詳しい選抜方針につきましては、教育庁HP内

『令和4年度大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科入学者選抜方針』

『令和4年度大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科入学者選抜実施要項』をご覧ください。

- ・過去の適性検査問題等も掲載されています。
- ・出願に関しての注意事項も記載されていますのでご覧ください。

大阪府教育庁アドレス

『 <http://www.pref.osaka.lg.jp/shienkyoiku/nyugaku/index.html> 』

『大阪 高等支援 選抜』で検索できます



「大阪府立高等学校に設置する 共生推進教室 入学者 選抜」

令和2年度より大阪府立東住吉高等学校と今宮高等学校に本校の共生推進教室が設置されました。設置校である高等学校と連携して生徒の支援をしています。共生推進教室の生徒の学籍は「なにわ高等支援学校」です。週に4日、設置校である高等学校で授業を受け、部活動や学校行事にも参加しながら高等学校の生徒と共に学びます。本校には週に1日、専門教科や共通教科などの職業実践の学習や、キャリア教育を通じて就労に必要な力を育てていきます。

1 志願できる者

本校と同じ。（ただし、大阪府内の中学校等を卒業見込みの者に限る）

2 選抜方法等

- （1）学力検査は実施せず、設置校において面接を行う。
- （2）入学者の選抜は、中学校等の校長が提出する調査書及び推薦書並びに面接の内容を資料として、支援学校長が行う。

※出願および合格者発表は設置校で行います。

出願	面接	合格者発表
2月14日(月曜日)及び 2月15日(火曜日)	2月17日(木曜日)または 2月18日(金曜日)	2月28日(月曜日)

3 大阪府立高等学校に設置する共生推進教室補充入学者選抜

合格者数が募集人員に満たない場合、大阪府立高等学校に設置する共生推進教室補充入学者選抜を行う。

※出願、面接および合格者発表は設置校で行います。

出願	面接	合格者発表
3月23日(水曜日)	3月23日(水曜日)	3月25日(金曜日)

○ 進学相談について

・本校は進学相談、教育相談は行いません。

※合格者決定後に中学校の担任との懇談を、また希望する保護者との懇談を行います。

・居住区域にある支援学校高等部との併願をする場合は、併願先の支援学校の進学相談・教育相談を必ず受けておいてください。

本校のアドミッションポリシー（求める生徒像）について

実習を伴う「専門教科」を中心に働く意義や楽しさが学べる学校です。

卒業後の就労を希望し、目標に向かって努力する意欲のある生徒を求めます。

1) 職業学科の教育内容を理解し、卒業後の就労に向かって努力する生徒

⇒ 自らの将来の夢を持ち、最後まであきらめずに取り組むことができる生徒

2) 基本的な生活習慣を確立し、すすんで様々な役割を担うことができる生徒

⇒ 早寝、早起き、遅刻をしない、生活リズム、食生活、学校での役割、家の手伝い

3) 自分のよさと課題を理解し、考えを積極的に相手に伝えようとする生徒

⇒ 自分の長所、短所、コミュニケーション力

4) 友だちのよさを理解し、自他ともに尊重する態度を身につけようとする生徒

⇒ 他人を尊重する心、自分や相手のことを大切にできる態度

やってみよう やりぬこう ゆめ むかって 夢に向かって！

学 校 名 : 大阪府立なにわ高等支援学校

住 所 : 〒556-0027 大阪市浪速区木津川 2 - 3 - 3 0

T E L : (0 6) 6 5 6 1 - 7 3 6 1

F A X : (0 6) 6 5 6 1 - 7 3 0 0

学 校 H P : <http://www2.osaka-c.ed.jp/naniwa-ks/>

